



エフィラ愛川ふれあいの村 今月

# 2026年4月 自然のたより

今年も春がやってきました。25℃を超える夏があったかと思えば、翌日は長袖でも肌寒くなるなど、近年の寒暖差には驚かされるばかりです。地球規模の気候の変化を肌で感じる昨今ですが、それでも自然は巡ってきます。目を向ければ、グラウンドの桜は満開を迎え、足元にはフデリンドウやカタクリが可憐に咲き誇っています。雨の少ない日が続いていますが、植物たちは「今」を力強く謳歌しているようです。こうした季節の移ろいを見つけながら、心豊かに過ごしたいものですね。私もそろそろ、薄手の服を準備しようと思います。（岡本）



春の妖精カタクリ



ドウダンツツジとコツバメ



今年もやって来たキビタキ



シロバナタンポポ



村のシンボル、フデリンドウ



ミツバアケビ



水辺のフキノトウ



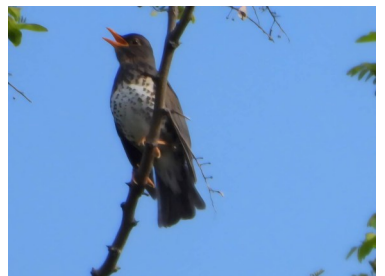
イロハモミジの花



香りの良いクロモジ



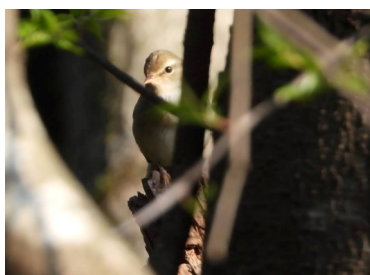
ルリタテハ



クロツグミ囀る



ホオジロ囀る



ウグイス



ツグミ筋肉もりもり



ヒヨドリと陽光桜

## トピックス ★ベニシジミ★

皆さんはベニシジミという蝶をご存じでしょうか。名前を聞いたことは無くても一度は目にした事があるでしょう。黒褐色で縁取られた赤褐色にゴマのような水玉模様が入った柄の翅を持つシジミチョウの仲間です。村内はもちろん、山から都内まで全国のいたるところに生息している、環境変化に強い蝶です。

私はこのベニシジミが飛び回る姿を見て、春を感じます。春から秋まで長期間見ることのできる蝶ですが、特別春を感じるのには理由があります。

蝶には季節型という特徴を持つ種類がいて、一年の間に数回の世代交代を行う中で、羽化する季節によって翅の色や模様が変わります。ベニシジミには春型と夏型があり、春型は鮮やかな赤褐色なのに対して、夏型は黒褐色になります。夏型を悪く言うわけではありませんが、私は個人的に春型の方が好きです。もちろんベニシジミ以外にも、モンシロチョウやアゲハチョウにも季節型があります。しかしあえてベニシジミを選んだ理由は身近で誰でも手軽に見られる種類でありながら、すごく鮮やかで綺麗だからです。

基本的に春は生き物の動き出しの季節になるため、他の虫たちの姿も見かけますが、やはりこの鮮やかな蝶が飛び回る姿が一番印象的で、私にとっては春をワクワクした気持ちで迎えさせてくれる光景になっています。どこでも見られる蝶ですので、外を歩く際はぜひ探してみてください。 (安田)



## 生き物 ★ツバメの来る村★

去年、5年ぶりに村にやって来て子育てをしたツバメが、今年の4月5日に再びも来てくれました。ただ、雄か雌どちらかが同じ巣に戻る確率は15%くらいのようなので、果たして同じツバメなのかは不明です。ツバメは古くから家内安全、子孫繁栄や無病息災など、多くの幸運を運んでくると伝えられています。また、蚊やハエなど人に害をもたらす虫を大量に食べてくれる益鳥でもあります。巣をかけている場所は集会室前、一番利用者の皆さんが集まる場所です。ツバメはカラスなどの外敵から巣を守るためにわざと人の気配が強い場所に巣をかけます。今年も一生懸命にヒナに餌を運び親ツバメの姿や子ツバメの巣立ちが見れると思います。今からとても楽しみにしています。(高梨)



## 旬 ★桜の実はサクランボ?★

春の花といえば桜が代表されます。その美しい花が散った後の実は、赤くツヤツヤしていてとてもきれいです。まるで小さなサクランボのようで、子どもの頃食べられるのか気になって試してみたら、漬くてとても食べられたものではありませんでした。

普段私たちが食べているサクランボは、佐藤錦など食用に美味しく品種改良されているものです。観賞用の桜で食べられるのは桜餅に巻かれているオオシマザクラの塩漬の葉っぱくらいです。

観賞用桜の木にできる実(サクランボ?)はかなり渋いので皆さんはチャレンジせずに美味しいサクランボを食べてくださいね。(袖山)



来月の見どころ  
**愛鳥週間に思う**  
今年の愛鳥週間は、五月十日から五月十六日までの一週間です。この時期に自然の中で野鳥保護思想の普及、および野鳥を取り巻く様々な環境保護や人との触れ合いを大切にしています。毎日、忙しい日々ですが、目を閉じて耳をすまし、野鳥たちのさえずりを聞いてみましょう。爽やかな風と共に聞こえる鳴き声と、出会った時の美しい姿に一日の疲れを忘れられます。  
五月になると、キビタキやサンコウチョウ、オオルリ、クロツグミなどの夏鳥が渡ってきます。日本の三鳴鳥といえ、ウグイス、コマドリ、オオルリですが、キビタキやサンコウチョウ、クロツグミも一度聞くと感動します。  
ふれあいの村では、五月三日の観覧会のテーマを「野鳥に会おう」にしました。写真(下)は、キビタキの姿を観察中の皆さん。最近減少傾向のツバメが軒下に巣を作ったこともありました。鳥が健康である時は人も健康である。人も鳥もお互いに支え合い助け合い平和な世界を願っています。(吉田)